

旧曾我織物工場

旧曾我織物工場は、5連の鋸屋根構造で木骨、大谷石積の壁体で、屋根は北側に採光窓を持つ鋼板葺である。東西(桁行)21.58m、南北(梁間)30.65mの規模で、各連の間隔は6.07m×5.46mである。外観は南正面、西側面と東側面北側2棟には石積が見え、各連と桁行の独立柱の位置にあたる外壁には幅40cm、厚さ約10cmの補強壁が取り付く。各棟には、それぞれ4本の円形の換気塔が建ち、建物西面は妻部分まで石が積まれ丸い喚起口が設けられている。各棟の中央部と南面には鉄製の外開戸のついた縦長の窓がある。建物の骨組は14.5cm角の柱がトラスを支えるが、梁と斜材は鉄筋で緊結している。



南西面



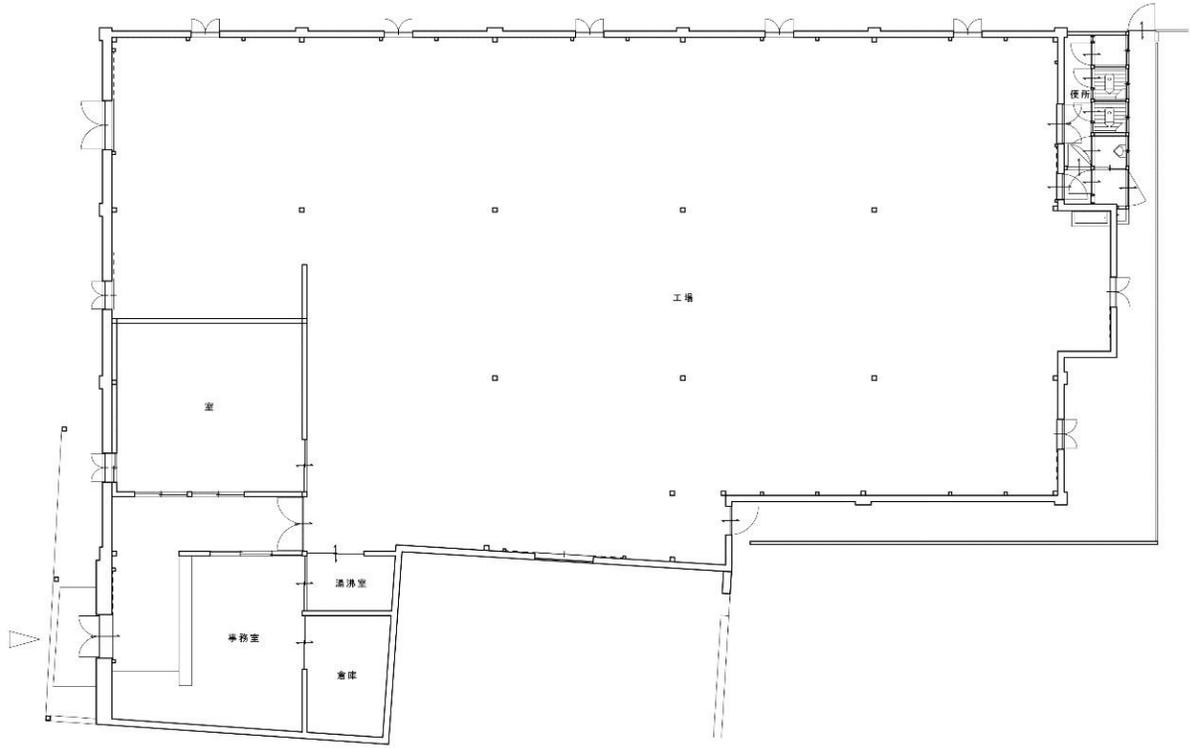
南東面



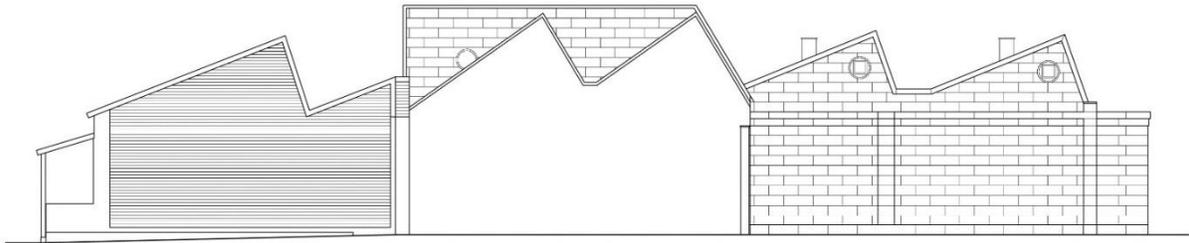
東面



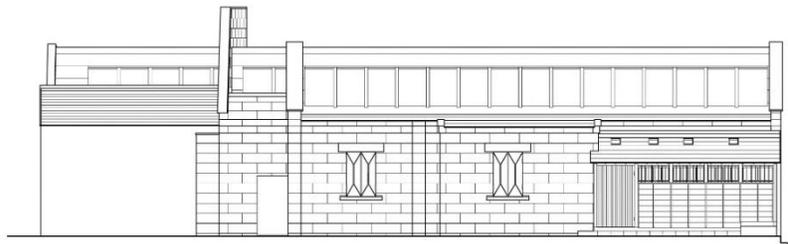
西面丸い換気口



平面図

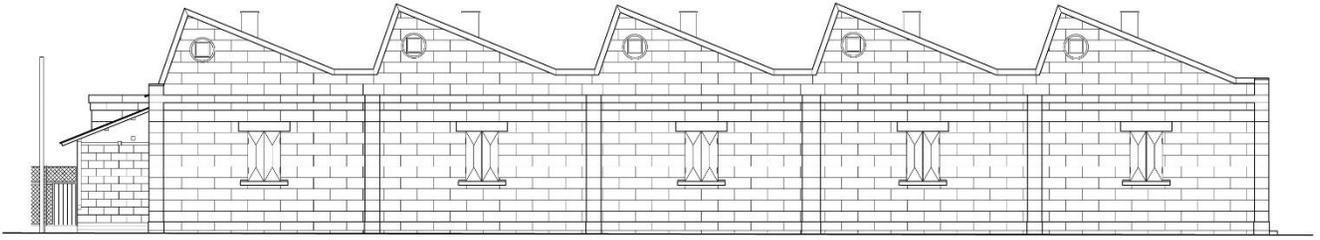


東立面図 S=1/100



北立面図 S=1/100

東・北立面図

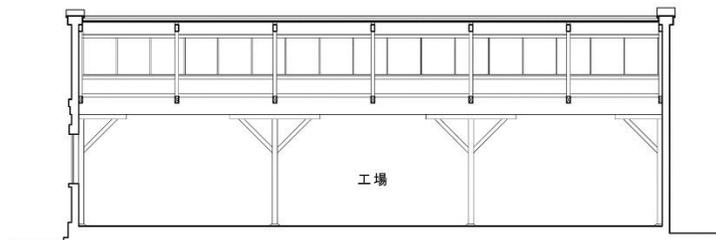
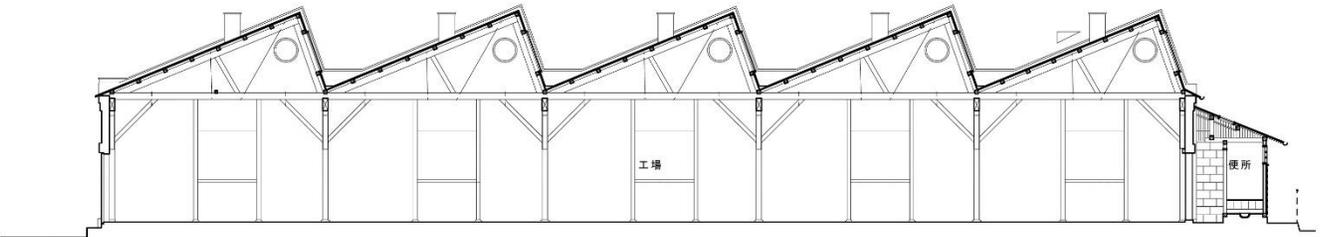


西立面图 S=1/100



南立面图 S=1/100

南·西立面图



断面图